



令和8年度 北九州市立思永中学校 学校経営方針

校長 竹中 雅則

◆北九州市教育大綱(令和6年度より令和10年度までの5年間)

「こどもまんなか」で質の高い教育環境の充実を図るため、次の5つの柱に基づいて、
教育を推進

- ① 全てのこどもにとって、「居心地のよい学校」をつくります。
- ② こどもが失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくります。
- ③ 誰一人取り残さない学びと、未来を見据えた先端的な学びを進めます。
- ④ 自律的で特色のある学校づくりを進め、教職員のウェルビーイングを高めます。
- ⑤ 地域とのつながりの中で、社会全体でこどもを見守り支え、育てます。

◆本校校訓「思永の精神」

「思い永く」 すなわち

「永遠のことを思え 眼前の名利(みょうり)にとらわれず高い視点、広い視野で深く考えよ」

◆学校教育目標

「自ら学び 深く思考し しなやかに行動する生徒」の育成
～ 問う ・ 考える ・ 動く ～

(1) めざす学校像 : 一人ひとりが「主役」になれる安全な居場所

- ① 命と健康を守り抜く、安全・安心な学校
- ② 明るい活気と「楽しさ」にあふれ、時と場に応じた規律とメリハリのある学校
- ③ 地域・保護者と共に歩み、信頼される学校
- ④ 社会の変化を見据え、生きる基礎を培う学校

(2) めざす生徒像 : 自ら学び 深く思考し しなやかに行動する生徒

- ① 【体】 命を大切にし、健康で明るく、自らの力で夢や希望をはぐくむ生徒
- ② 【知】 自ら問い、深く思考し、主体的に学ぶ生徒
- ③ 【徳】 相手を思いやり、礼儀と規則を重んじて、しなやかに行動する生徒

(3) めざす教師像 : 深い知性と温かな心を持ち、しなやかに導く教師

- ① 生徒を大切にし、厳しさと優しさのある教育的愛情に満ちた教師
- ② 自ら研修に励み、深く思考して実践的指導力を高める教師
- ③ 教育公務員としての責任感と使命感を持ち、誠実に行動する教師
- ④ チームの一員として、学年や分掌の垣根を越えて情報を共有し、互いに信頼し支え合っ
て組織的に動く教師

◆「めざす生徒像」を育成するための重点取組

- ◎ 全教職員のすべての教育活動への理解と協力を基盤として、一人一人の教職員の積極的な参画と組織としての創意と活力を高めることで、「令和8年度北九州市立思永中学校スクールプラン」に基づく教育活動の実現を図る。
- ◎ 子どもが主体となる学びの実現を目指して、「わかる授業」を実践するため、不断の授業改善を推進する。
- ◎ 生徒たちの「生きる力」、職員の「働き甲斐」を育み、新たな視点で特色のある教育活動や活力に満ちた教育活動を創造・実現する。

自ら学び 深く思考し しなやかに行動する生徒の育成	【体】 命を大切にし、健康で明るく、自らの力で夢や希望をはぐくむ生徒
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ① あいさつ・時間を守る・環境を整える・きまりを守る 【校則の見直し】 ② 「早寝・早起き・朝ごはん」「ネット・SNS等のトラブル防止」【家庭との連携】 ◇ 自ら健全で安全・安心な生活を送る基礎を培う教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 「安全教育」の充実 【生命(いのち)の安全教育(性暴力防止教育)の実施】 ② 「食育」の実践 ◇ 健全な心と体をはぐくむ部活動 <ul style="list-style-type: none"> 北九州市の総合的なガイドラインに基づく実践 【部活動地域展開への理解】
	【知】 自ら問い、深く思考し、主体的に学ぶ生徒
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教師の「授業力向上」 <ul style="list-style-type: none"> ① 各教科の「重点目標」達成に向けての研究・研修 【教科部会の充実】 ② 「指導と評価の一体化」の実践 【指導力向上のための研修の充実】 ③ ICTを効果的に活用した授業実践 ◇ 生徒の「基礎学力の向上」 <ul style="list-style-type: none"> ① ドリルアプリの効果的な活用(基礎学力の定着) ② 補充学習の充実(朝自習・家庭学習) 【家庭学習の充実】
	【徳】 相手を思いやり、礼儀と規則を重んじて、しなやかに行動する生徒
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 心を育む教育活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 生徒と教師がともに感動できる豊かな体験活動 ② 道徳科の授業づくりと評価に関する研究・研修 ◇ 自己肯定感をはぐくむ生徒指導の推進 【生徒指導の実践上の視点】 <ul style="list-style-type: none"> ① 「自己存在感の感受」 ② 「共感的な人間関係の育成」 ③ 「自己決定の場の提供」 ④ 「安全・安心な風土の醸成」 ◇ よりよい人間関係づくりにつながる人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 教職員の人権意識の高揚 【教師のマルトリートメント(不適切な関わり方)を起こさないためのアップデート】 ② 生徒間のよりよい人間関係づくりのための実践 ◇ 持続可能な社会の構築に主体的に取り組む態度、能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 各教科等における「SDGsの17の目標」を踏まえた実践

◆誰もが安心して学び、成長できる「信頼される学校」の基盤づくり

(1) 個に応じた支援と多様な学びの保障

◇ 特別支援教育の充実

- ・ 特別支援教育コーディネーターとの連携
- ・ 関係機関との連携（特別支援教育相談センター、SSWなど）

◇ 長欠・不登校生徒への多層的な支援

- ・ ステップアップルーム、オンライン授業等の活用
- ・ 関係機関との連携（不登校等支援センター、教育支援室、SC、SSWなど）

(2) 校種・地域の壁を越えた教育ネットワーク

◇ 思永中校区小中一貫教育、小中連携教育の推進

- ・ 義務教育9年間を見据えた活動プランの作成・実践・振り返り
- ・ 中1ギャップを解消する円滑な接続

◇ コミュニティ・スクールの適正な運用と充実

学校運営協議会を軸とした、地域と目標を共有する「熟議」の場づくり

(3) 組織の健全性と安全の徹底

◇ 年間学習指導計画の作成と着実な実践

生徒、地域、学校の実態等を基にした、創意工夫を生かした教育課程の編成

◇ スクールプランに基づく教育活動

- ・ 適切な自己評価（教職員）、スクールアンケート（生徒・教職員）、学校評価アンケート（生徒・教職員・保護者）などを実施
- ・ 教育活動の評価・改善とともに、「スクールプラン」を活用した学校マネジメントのPDCAサイクルを推進

◇ 安全・安心な教育活動の推進

- ・ 毎日の「心の健康観察」、毎月実施する「生活アンケート」、年3回実施する「いじめアンケート」の実施
- ・ 「教育相談」「チャンス相談」を基にした、いじめを見逃さない・いじめを生まない教育活動の推進

◇ 生徒にとって居心地のよい学校づくり

- ・ 安全指導、健康教育、食育（アレルギー対応を含む）とともに、安全点検を実施
- ・ 校内の教育環境を向上し、生徒の健康・安全に配慮

◇ 教職員のウェルビーイングの向上

- ・ 教職員の健康の維持管理（ワークライフバランス）に配慮し、「働き方改革」を推進するとともに、不祥事やハラスメント等のない健全な学校づくりを推進
- ・ ワークシェアの推進や業務の効率化を図り、一人ひとりの専門性を発揮しながらも、特定の人に負担が偏らない持続可能な協力体制を構築

◇ 地域とともにある学校づくり

学校・学年・学級だより等や学校ホームページでの情報発信等や学校運営協議会との連携に基づく活動による開かれた学校づくり

- 「誰一人取り残すことのない教育」の実現に向けて、チームとして教育活動に取り組む
- 授業研究・研修とともに、日々の教育活動を通して人材育成に取り組む